

阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会  
2004年度第5回常任幹事会議事録

●日時  
2004年12月18日(土) 14:00~17:00

●場所  
阿佐ヶ谷美術専門学校 本館2F

●出席者  
秋元圭一 [会長]  
甲斐光省 [副会長]  
大村政幸 [常任幹事]  
三浦嘉久 [常任幹事]  
小山 弘 [常任幹事]  
勝山昌幸 [常任幹事]  
角谷祥子 [常任幹事]  
藤原成理 [常任幹事] : 途中参加

●委任欠席  
西田一成  
目須田修 (→西田氏)  
菊池 満  
渡部征明  
西谷之男  
浜村圭一  
松岡和彦  
川島昭作 (→西田氏)  
岸 明美

常任幹事出席者8名  
委任状欠席者9名  
定足数成立

●議事進行  
議長・進行/小山 弘

●書記/大村政幸

●議題  
議題1/  
今後の学校との連携についての再報告

議題2/  
次年度の選挙について

議題3/  
その他(今後の会費徴収・会則検討など)

次回日程

議長の小山氏から、会議直前に三輪校長と秋元会長での再度の話し合いがもたれた事が告げられ、議題の内容を若干変更しながら進める事となった。

### 議題1 今後の学校との連携についての再報告

#### ●経過報告と会費徴収について

秋元会長からの経過報告として「10月19日に三輪校長と話し合いをして、備品や場所などの使用に関してはほぼ従来通りだが、学校の体制も変わるという事を含め、2006年度入学分から学校側では同窓会費を徴収しないという提案があり、同窓会独自の徴収方法を考えておいて下さいという事だった。その後、就職科の島氏と事務の深津氏から、やはり同窓会で徴収するのは難しいのではないかとという事で、なんとか学校に代行してもらって徴収という形を理事長に提案して下さった。先ほど会議の前に学校長と話し合ってきた際『3年生への進級時の学費納入の際、当同窓会入会案内の文書を配った上で、学校側手数料として5%を込みとする会費10000円の徴収を学校側に委託する』との再提案があった。問題点は1年~2年生の間で中退等の学生は入会ができないという事と、2007と08年の2年間は収入がない事の2点です。この2年間は現資産を切り崩す形にはなると思うが、現状と同等の支出の範囲であれば問題は無い。ただ、これから急に入学が増える事はないと思うので、規模縮小や寄付を募るなど、同窓会で何らかの事業で収入を得る手段は必要だと思っている。名簿連携の件では学校と同窓会で名簿データを同調させたかったが、学校としてはプライバシーの保護とセキュリティ問題で、必要最小限の情報を渡すので、足りない情報は同窓会で追跡調査をして、学校の名簿サーバーで管理して欲しいとの事でした。島氏から業者側に同窓会個別の対応に関する費用の見積りをとってもらおうが、あまりに高額であれば検討が必要です」という報告があった。これに対し「手数料を支払う事で学校側に意見できるし、なにより気負いなくいられる事はよい」「自分で学費を捻出している学生、出費者である保護者が案内を把握した時点で拒否する場合はどうするかなどの検討が必要だが、2年間のプランは致し方ない」「何年かに一度、手数料の額面を学校側と同窓会側で交渉するという契約書を作成しておく必要もあるのでは」などの意見があった。また、この件の承認については「一人につき3%ではどうか」「新会員の為の手数料が全体の中から支払われる事になるので、会費10000円+手数料5000円ではどうか」「手数料固定(例えば5万)ではどうか。変動がないので、予算組みが楽になる」「少なく見積もって100人として、手数料として5万は妥当だと思う」等、学校側の提案でおおむね了解ではあったが、少し時間をおいて他の方法も模索しながら進める事とし、承認は次回となった。

さらに秋元会長は「研究科については、外から入る人からは徴収してもらうので、先の進級時との2本立てになるという事と、島氏によると日本装飾美術学校卒業生の同窓会への入会に関しては、日本装飾美術学校の理事会としては考えてはいないとの事だった。しかし、後から入会となると大変ではないかという事は島氏に話しておいた」と付け加えた。

#### ●名簿の二重記載・準会員などについて

「(大村)入会希望に関しては、二重に名簿に載っている可能性のある人(2002年度第3回議事録参照)、中退したのになぜ封書が届くのかという問題(2003年度第6回議事録参照)を含めて考えた方がよいのでは」ということに対しては「(小山)過去には問題があったようだが、事務局への正式な形でのクレームは今の所来ていない。来た場合は個別に対処する」等の意見後「(甲斐)準会員はいずれ正会員になれるのか(「準会員:会則第2章第5条:かつて阿佐美に1年以上在籍した者」...同窓会発足以前の方や2006年度以降入学の方など、会費を払っていない人)」という質問に「(秋元)準会員に関しては『準』という区別を無くしたい。今後、会費徴収のタイミングが変わると中退の名簿があがってこないし会費も払わない事になるが、同期の方との繋がりでも希望すれば入会できるという文をホームページに記すなどしてフォローしていく」と答えた。

●日本装飾美術学校との連携について

「(甲斐)日本装飾美術学校から同窓会に入会したいとの要望が合った場合は？」との質問に「(秋元)学校側にそういう情報があった場合は伝えてほしいと言ってあるが今の所はない。こちらとしては、入会は問題ないと考えている」「(甲斐)「あさしん」に日本装飾美術学校の情報も掲載されるなど、いい形になっているので、こちらで展示会などあった場合に同窓会で応援できるとよい」「(秋元)後からのフォローは難しいので強制はできないが、同窓会の事は考えてほしいと思っている」と述べた。

議題2 次年度の選挙について

次に議長が「会費徴収の問題で二転三転したが、次に選挙について話合いたい」と述べ意見交換になった「(大村)会費徴収の問題の為、選挙を見送るのではなかったか、解決しそうなら行くのか」との意見に「(三浦)今回は選挙を見送ると決定するかどうかという事だと思う」「(角谷)以前から選挙の議題はあった。この問題は現常任幹事のみで決めては暴走するきっかけになりかねないという事だったと思う。年に1回、選挙をしなくていいように提案しておいてから選挙を行って、その後、承認されればそれ以降は新しい方法に則るのが正しいと思う」「(藤原)承認を取る為に、会務報告の同窓会ニュースを出す時に返事を取ろうという事だと思う。会則変更の事もあり、次の選挙は見送る方が、メリットが多いという話が出ていた時に、たまたま会費の話が出たのできっかけにしてしまったが、初めからあった議題だった。前回の会議でも承認されている」「(秋元)会費の問題とは別に、来年は選挙をしないで1年を送れるという事的前提は、会則変更の承認もその1年の中で行えると思っていた。同窓会ニュースを出す時に会則変更の進行状況と考え方を提示して、これを踏まえて来年の選挙を見送り、現幹事の任期を1年延ばすという事を承諾してもらうという方法もある」「(藤原)同窓会が何を目指してやっていくかという事も含め甲斐氏を中心に検討してもらっているが、会則を変更して任期を延ばして実現していきたい。今のルールは暴走する前から暴走するのではないかとブレーキが効きすぎていて動けない状態だと思う。もっとカンフル剤がほしい。毎年の選挙はつらいので任期を延ばしましょうという前提で、その検討をするのにも、任期がほしいから伸ばしましょうという話だった」「(角谷)とりあえず延ばすという事ですか」「(藤原)そうです、まだ会則変更までいかず、とりあえず延ばす『承認』を同窓会ニュースの中でして、もう1年延びた所で会則変更をしっかりとしようというのが目標です。もしまた半分の人がリセットされたらゼロから下地作りが必要という悪循環が繰り返される」「(秋元)1年おきに選挙という状況ができた時には、少なくとも選挙のない年は活動に関する話を極力たくさんできると思う。今の藤原氏の言った方向にできれば良い」と述べ、選挙の見送りという方向で話が進んだ。

●同窓会ニュース発送

「(小山)今の内容を同窓会ニュースに載せる方向でよいのではないかと」の意見に「(秋元)9～10月の「あさしん」との連動を考えていたが、発送費も含めてタイミングが合わなかった。独自に会務報告だけでもよいが、他にメッセージがないかという事で、今言った選挙の内容も含めたい。会則に関しての承認は、幹事さん用に承認用のハガキを準備したい」との意見交換がなされた。結果、1月20日に同窓会ニュースを発送する予定となり、A4裏表というスタイルで片面に会務報告もう片面に経過報告と承認してもらう事項等という事で、おおまかな内容は{同窓会ですてほしい事や企画の募集}{幹事用のみではなく、同窓会員のアドレス募集}{スキー企画(詳細はホームページで載せるとかして、同窓会ニュースでは予告ぐらいにしておきたい)}{幹事にやってもらいたい仕事をピックアップして選択して頂く形に}{議事録から会員に伝えたい決定事項をピックアップ}等という意見が出た。幹事の承認・不承認は2月10日を締め切として、選挙が2月中旬発送で3月中旬開票なのでぎりぎりのスケジュールだが、承認が得られなければ時期をずらしてでもやらなければならないと話が進んだ。また、藤原氏から同窓会の掲示板利用に関して『ミクシィ』というサイトのシステムを参考にしてはとの提案があり、秋元会長はセキュリティ等の問題を考慮して検討したいと述べた。

### 議題3 その他

#### ●アサビアワード実行委員の決定

「(小山)同窓会でどういう事をやったらいいか?」という意見が求められた。資産を増やせるくらいにホームページを活性化したいという意見に対してWEB委員の大村氏は「作ってほしい項目が既にasabi-net上のアンケート結果にもあるので、ボリュームはつけていけると思う」と述べると、新たに同窓会としてやりたい事を募集するコーナーがあるとよい等の意見が続き、「(秋元)阿佐美アワードを年1回のペースでできないか」と提案。BAIRI賞と融合したらどうかという意見も出たが「(秋元)BAIRI賞については校長に審査基準等の詳細を訊いておかないといけない」と述べるにとどまったが、「(甲斐)検討委員会を作っても白紙に戻る一方なので、やる事を前提に委員を組まないといけない」「(三浦)アサビアワードが前回の総会&パーティで第1回なので第2回からとなる」「(角谷)毎年よりも総会&パーティ時に合わせた方がよいのでは」と意見が続いた後、具体案として推進してゆく事となり、アサビアワード実行委員が勝山氏を長に甲斐氏と小山氏に決まった。

#### ●アサビフェスタについて

その後、アサビフェスタの展示についての話題になり「(藤原)去年『あの会』から二十人ぐらいい協力頂いた」「(大村)総会&パーティの時に西田氏から搬入時の保険の話があった」「(藤原)保険の事はやはり当時事務局長だった西田氏に言われたが、デジタルやコピー素材が多かったのでその時は問題なかった。ホームページで告知や公開もしたい。来年12月15日が60周年なのでイベントができないだろうか」との提案に同総会で絡んでしまおうという方向で一同賛成の声が上がった。

#### ●同窓会の活性化について

「(大村)新しい人が参加しても把握できないまま時間が過ぎてしまうので、新しい事をするよりも保留になっている問題を今の段階で解決する方が先だと思う」「(藤原)委員会を作っても委員長が動かないと停滞してしまう。ある程度の時期ごとに会議内容を振り返る事も必要」等、在校生を含めたイベントを設けるなどすれば世代間のよいコミュニケーションになるという事で「(三浦)在校生には就職活動の場になる」「(藤原)学校との連携を深めれば現講師に習った卒業生も参加し易くなると思う。現講師は10期ぐらいいて、西田氏達が講師だった頃とのブランクは渡部氏がいるので繋がっている」等、意見が続いた。

#### ●学校との連携についての意見交換

「(秋元)今期は同窓会ニュースと「あさしん」の連携ができませんでしたので来期は「あさしん」と連携して同窓会ニュースを出したい」「(藤原)本来会務報告は五月では?」「(秋元)五月から六月中旬までにはホームページで会務報告をアナウンスして、書面で送るものは年明けに学校と連動して卒展の案内と一緒に送りたい」「(藤原)学園祭や卒展に同窓生に来てほしいと思っている」「(小山)「あさしん」同封した同窓会ニュースを一回だけ出すとするなら学園祭と卒展のどちらがいいか?」「(秋元)阿佐美フェスタよりは卒展の方が同窓生は行きたいのでは」「(藤原)学校としては卒展を見てもらえれば就職に関してのメリットがある。個人的には学園祭で同窓生の作品を展示したい、前に西村先生の展示会をやった事もある。同窓生同士のコミュニケーションになるし、同窓会員の市場の現物を見るだけでも学生にとって刺激になる」と意見が交された。

最後に議長から「西田氏から会費徴収に関するの良いで提案をいただいて、本日の検討材料としてプリントしていたのですが、結局状況が変わってしまいました。プリントは皆さんにお配りしておきますので、今後の参考にしてください。ただ、選挙の可能性もあるので三浦氏には待機状態ですみませんが、よろしく願います」と締められた。

#### 次回日程

2005年2月19日(土) 15:00～の幹事会日時の確認をして議会は閉会した。